

九州国際大学研究者情報

基本情報

所属	現代ビジネス 学部 国際社会学科	氏名	大形里美 Ohgata Satomi
職名	教授	E-mail	ohgata@cb.kiu.ac.jp
		研究室ウェブサイト	

■ 学歴・取得学位

1990(平成2)年3月	東京外国語大学外国語学部インドネシア・マレーシア語学科卒業
1993(平成5)年3月	東京外国語大学大学院外国語学研究科修士課程修了 文学修士
2006(平成18)年3月	北九州市立大学 社会システム研究科博士課程(地域社会システム 専攻)単位取得満期退学

■ 主な職歴

1995(平成7)年4月 -1999(平成9)年3月	東京外国語大学、大学書林国際語学アカデミー他 非常勤講師/東京地方裁判所(法廷通訳、通訳者セミナー講師)、NHK情報ネットワークセンター他通訳
2000(平成12)年4月	九州国際大学 専任講師
2004(平成16)年4月	九州国際大学 助教授
2012(平成24)年4月	九州国際大学 教授

教育活動

■ 主な担当授業科目

<input type="radio"/> 学部：インドネシア語、比較宗教論、カルチュラル・スタディーズ(宗教)、入門セミナー、専門演習、卒業研究、グローバル・スタディーズ入門、多文化共生論、海外社会実習
<input type="radio"/> 大学院：なし

■ 教育上の特記事項

<input type="radio"/> 教科書・教材：『インドネシア語を学ぼう』朝日出版社 2016年
<input type="radio"/> 教育活動：なし
<input type="radio"/> 免許・資格：インドネシア語技能検定試験受験者の指導 2022年4月 「食品衛生責任者 資格」取得 2023年3月 BPJPH(インドネシア・ハラール 製品保証実施機構)より日本人として初めて「ハラール内部監査人(internal halal auditor) 資格」を取得

研究活動

■ 研究分野

研究分野	インドネシアのイスラム
主な研究テーマ	インドネシアのイスラム社会運動 ハラール基準・認証制度のあり方
キーワード	イスラム、ジェンダー、思想、ハラール

■ 主な著書・論文等

<p>著書</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 『結婚と離婚』(イスラーム・ジェンダー・スタディーズ1) (共著) 明石書店、2019年 長沢 栄治 監修、森田 豊子 編著、小野 仁美 編著 「インドネシアにおける結婚—一夫多妻婚、秘密婚、異教徒間の婚姻」 ○ 『東南アジア文化事典』(共著) 丸善出版 2019年 信田 敏宏(編集) 「女性と政治」 pp. 504-505. ○ 『インドネシア語を学ぼう!』(単著) 朝日出版社、2016年 Gus Dur Di Mata Perempuan, Fatayat NU, Ala' i Nadjib, Penerbit Gading, 2015. ○ 『現代インドネシアを知るための60章』(共著) 明石書店、2013年 「ジェンダー」 pp. 91-95、「イスラム急進派の動向」 pp. 245-249、「イスラーム防衛戦線 イスラーム服を着たチンピラ」 pp. 250-252 ○ 『東南アジアのNGOとジェンダーの主流化』(共著) 田村 慶子・織田 由紀子 編著、 明石書店、2004年. <p>論文</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Rethinking halal certification: Balancing religious requirements, sustainability, and cultural context in Muslim-minority countries. (単著、英文) In M. Köksal, M. A. Alsheikh Wace, F. B. T. Gül, & R. Ouldchikh (Eds.), <i>World Halal Summit 2025 - Congress Proceedings Book</i>. Lokman Hekim University / SMIIC / Discover Events. ページ: pp.115-122 査読有 ISBN: 978-605-71144-4-0 ○ 「世界最大のイスラム組織NU 100周年イベントとその意義: 人類平等のためのイスラム法学の構築を呼びかける平和外交」(単著)『インドネシア言語と文化』 日本インドネシア学会(30), 27-44, 2024. 査読無 ○ What is Required of Halal Standards and Halal Certification Systems in the Global Era? (単著、英文) <i>ISLAM NUSANTARA: Journal for the Study of Islamic History and Culture</i>, 5(2), (2024). 1-35. 査読有 https://doi.org/10.47776/islamnusantara.v5i2.1186 https://journal.unusia.ac.id/index.php/ISLAMNUSANTARA/article/view/1186 ○ 「ヨーロッパにおけるハラールサービスのあり方とハラール基準—現地調査から明らかになったこと— Halal Services and Halal Standards in Europe -Insights from the Field Survey」(単著)『九州国際大学国際・経済論集』第13号, pp.71-103. 査読無. ○ 「日本の教育現場でどのようにムスリムの子どもたちを受け入れるべきか: シンポジウムから学ぶ」(単著)『九州国際大学国際・経済論集』第12号, pp. 75-106. 査読無. ○ 「(技術解説)ハラール対応と醤油」(単著)『醤油の研究と技術』 Vol. 49, No. 3, 2023, pp. 149-158. 査読有. ○ “Indonesia’s Halal Business Practices with Japan: Promoting Muslim-Friendly Initiatives,” (共著、英文) <i>Journal of Human Security</i> Volume 19 Issue 2 Siti Nur Azizah , Juhriyansyah Dalle , Nurchasanah Satomi Ogata, Sulaksono , Eny Sulistyowati , Arif Awangga, pp.50-58 DOI: 10.12924/johs2023.19020007 ISSN: 1835-3800 査読有. ○ “Halal Standards in the Age of Globalization: The Current Situation in Muslim Minority Countries and the Responsibilities of Muslim Majority Countries” (単著) Proceedings of
--

the 3rd International Conference on Halal Development (ICHaD 2022), 査読無.
<https://www.atlantis-press.com/proceedings/ichad-22/125987718>

- 「ムスリム多数派国におけるハラール基準の発展と日本のハラールサービス」(単著)『九州国際大学国際・経済論集』第11号, 2023年, pp.1-33 . 査読無.
- 「テロは「イスラム教の論理」に基づくものではない: ヘールト・ウィルダースによる反イスラム短編映画『フィットナ (Fitna)』に対するインドネシアを代表するイスラム学者クライシュ・シハップ教授の見解」(単著)『九州国際大学国際・経済論集』第10号, 2022年, pp.123-156 . 査読無.
- 「ハラール基準に関する誤解を解く —「ハラール」のアルコールとは—」(単著)『九州国際大学国際・経済論集』第9号, 2022年, pp.79-110 . 査読無.
- 「グローバル化時代における日本の国内向けハラール・サービスをめぐる諸問題: ハラール基準に関する誤解がもたらしているもの」(単著)『九州国際大学国際・経済論集』第8号, 2021年9月, pp.35-70, 査読無.
- 基調講演記録: 九州国際大学現代ビジネス学部主催 ハラーム対応に関する第2回 公開シンポジウム(講演録)(共著)『九州国際大学国際・経済論集』第7号, 2021年, pp.81-120 . 査読無.
- 「日本における「ハラール対応」の現状と課題 —レストラン『極味や』による「ハラール対応」の取り組みと福岡マَسジドにおける「ハラール認証」無料発行の意義—」(単著)『九州国際大学 国際・経済論集』九州国際大学現代ビジネス学会, 第6号, 2020年10月, pp.1-36, 査読無.
- 「インドネシアにおける異宗婚をめぐる状況—リベラル派イスラムと保守派イスラムの対立—」(単著)『九州国際大学国際・経済論集』第5号, 2020年3月, pp.21-54, 査読無.
- 「インドネシアにおけるLGBT運動を取り巻く状況—LGBT運動の展開と近年の対立の構図—」(単著)『九州国際大学国際・経済論集』九州国際大学現代ビジネス学会, 第3号, 2019年3月, pp47-78, 査読無.
- 「女子割礼とインドネシアのイスラム社会—リベラル派と保守派の交錯—」(単著)『九州国際大学社会文化研究所紀要』第70号, 2012年8月, pp.49-92, 査読無.
- “Changing Japanese Society and Women” (単著、英文) Shakai Bunka Kenkyusho Kiyō Vol.66, Institute of Social Science and the Humanities in Kyushu International University, August 2010, pp.51-68, 査読無.
- 「インドネシアにおけるイスラム教徒のイスラム教義理解とその実践、及びジェンダー規範—意識調査の分析(その2)」(単著): ジェンダー関連項目一, 九州国際大学 国際関係学論集 第5巻1・2合併号, 2020年3月, pp.97-136, 査読無.
- 「ジェンダー平等の視点からイスラム法学を再構築する試み—インドネシアのウラマー: フセイン・ムハンマド氏の思想と活動—」(単著) 2009年3月, 早稲田大学イスラム科学研究所『イスラム科学研究』第5号, pp.29-42, 査読無.
- 「現代インドネシアにおけるイスラム教徒のイスラム教義理解と実践に関する意識調査」(単著)『九州国際大学国際関係学論集』第4巻第1・2合併号, 2009年3月, pp.117-157, 査読無.
- 「インドネシア・ムスリム社会における宗教的寛容性—「リベラル派イスラム」とその周辺(II)」(単著)『九州国際大学国際関係学論集』第3巻第1・2合併号, 2008年3月, pp.1-39, 査読無.
- (単)「インドネシア・ムスリム社会における宗教的寛容性—「リベラル派イスラム」とその周辺(I)」(単著)『九州国際大学国際関係学論集』第2巻第2号, 2007年3月, pp.1-50, 査読無.

<書評>

- 「(書評) 足立真理『イスラームの慈善の論理と社会福祉—現代インドネシアにおけるザカートの革新と地域の主体』」(単著)『東南アジア研究』第63巻第1号, 京都大学東南アジア地域研究研究所, 2025年, pp.141-144, <https://hdl.handle.net/2433/295712>. 査読有

- 「〈書評〉 茅根由佳著『インドネシア政治とイスラーム主義—ひとつの現代史』の書評」(単著)『アジア・アフリカ地域研究』第24巻, 第1号, 2024年, pp. 114-119, 京都大学, <https://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/handle/2433/290316>. 査読有
- 「〈書評〉 見市建著『インドネシア—イスラーム主義のゆくえ—』」(単著)平成17年(2005年)10月『アジア経済 第47巻第3号』アジア経済研究所, pp. 104-107. 査読有
- 「〈書評〉『インドネシア—イスラーム主義の行方—』に関する補足説明—著者・見市建氏の反論を受けて—」(単著), 平成18年(2006年)3月『アジア経済 第47巻第3号』アジア経済研究所 pp. 116-118. 査読有
- 「〈書評〉 Linda Rae Bennett, Women and the State and Modernity: Single Women, Sexuality and Reproductive Health in Contemporaru Indonesia.」(単著)『アジア経済 第47巻第7号』アジア経済研究所平成18年(2006年)7月, pp. 64-68. 査読有
- 「〈書評〉 Muslim Reformis: Perempuan Pembaru Keagamaan (改革主義者のムスリム女性—宗教改革者である女性)」(単著)『国際ジェンダー学会誌 第4号』2006, pp. 132-136. 査読有

<翻訳・紹介>

- 翻訳・紹介「現代インドネシアの詩と詩人～その2—Abdul Hadi 氏の詩とイスラム神秘主義文学におけるシンボリズム (アッタールの鳥の諷諭の伝播)—」(単著)『社会文化研究所 紀要』第74号、2014年8月、pp. 33-67, 査読無.
- 翻訳・紹介「現代インドネシアの詩と詩人～その1—A. ムストファ・ビスリ師 (A. Mustofa Bisri: 通称グス・ムス) の詩—」(単著)『社会文化研究所 紀要』第72号、2013年8月、pp. 69-94, 査読無.

<ニュース・レターなど>

- 「LGBT問題をめぐるモラル・パニック—刑法改正案とLGBT運動を取り巻く状況—」『インドネシア・ニュースレター No. 98』日本インドネシア NGO ネットワーク 2018年9月, pp. 2-13, 査読有.
- 「アホックの収監とハビップ・リジックの逃亡から見えてくること」『インドネシア・ニュースレター No. 95』日本インドネシア NGO ネットワーク (JANNI) 2017年9月, pp. 19-31, 査読有
- 「宗教的少数派に対する暴力事件の背景～反シーア派運動を中心に～」『インドネシア・ニュースレター No. 92』日本インドネシア NGO ネットワーク (JANNI) 2016年8月, pp. 2-11, 査読有.
- 「インドネシアのイスラミック・ファッション業界とイスラム思想」『インドネシア・ニュースレター No. 89』日本インドネシア NGO ネットワーク (JANNI) 2015年9月, pp. 20-34, 査読有.
- 「インドネシアのムスリマ専用サロン」『インドネシア・ニュースレター No. 83』日本インドネシア NGO ネットワーク (JANNI), 2013年8月, pp. 48-57, 査読有.
- 「イルシャッド・マンジ、レディー・ガガ、イスラム過激派 FPI (イスラム擁護戦線)～揺さぶられるインドネシア/イスラム社会」『インドネシア・ニュースレター No. 80』, 日本インドネシア NGO ネットワーク (JANNI), pp. 36-47, 査読有.
- 「通称『ニカ・シリ法案 (ドラフト)』をめぐる騒動」『インドネシア・ニュースレター No. 71』日本インドネシア NGO ネットワーク (JANNI), 2010年3月, pp. 34-44, 査読有.
- 「大統領選と『スカーフ騒動』」『インドネシア・ニュースレター No. 68』日本インドネシア NGO ネットワーク (JANNI), 2009年8月, pp. 20-27, 査読有.
- 「イスラム社会の新たな亀裂(モナス事件とポルノ規制法)」『インドネシア・ニュースレター No. 66』日本インドネシア NGO ネットワーク (JANNI), 2009年2月, pp. 36-44, 査読有.

学会発表

- 東南アジア学会 第107回 研究大会
「日本におけるハラール対応の現状と課題—ムスリム少数派国における国際基準の影響」

(単独) (パネル報告:「ムスリム少数派国におけるハラール認証制度の展開 中国、台湾、タイ、日本の事例研究」) 2025年12月7日

- 「リベラル派イスラム思想の展開と インドネシア女性ウラマー会議 (KUPI)」 (単独) 東南アジア学会第106回 2024年12月7日 (於:大阪大学箕面キャンパス)
- 「グローバル時代のハラール認証と諸問題; インドネシアと日本のハラール認証制度の関係性から」 (単独) 日本インドネシア学会第55回研究大会 (於:立命館アジア太平洋大学) 2024年11月24日 (日)
- 「世界最大のイスラム大衆団体ナフダトゥール・ウラマー(N U) 結成 100周年を記念する国際大会とその意義 (Acara Satu Abad NU dan Maknanya)」 (単独) 日本インドネシア学会第54回研究大会 (京都産業大学) 2023年11月12日。
- 「東南アジアにおけるハラール認証制度の発展と日本のハラールサービスのあり方」 (単独) 2022年 東南アジア学会報告自由研究発表第3セッション, 東京外国語大学【C会場】本部管理棟2F 大会議室 2022年12月10日 (土) (Zoom Room 3)
- 「インドネシアにおけるジェンダーに関するイスラム法学のあり方と国内・国際政治」 (単独) 日本国際政治学会 2022年度研究大会 (於:仙台国際センター) 分科会<A-5><ジェンダー分科会>2022年10月28日。
- 「インドネシアにおけるハラール認証制度の発展とムスリム少数派国に生きるムスリムたち」 (単独) 東南アジア学会九州地区例会、パネルテーマ「多宗教社会におけるイスラム的正しさの模索」 2022年5月21日 (Zoom)
- “The Importance of Setting Local Halal Standards and Their Implementation,” (単独、英語) ASIA PACIFIC CONFERENCE 2021, APU-Research Center for Muslim Affairs Session: “Challenges in Implementing Muslim Friendly Hospitality Services (MFHS) in Japan” 5th December 2021.
- ” The Practice of FC in Indonesia ~ Current options/ feelings of the people.” (単独、英語) APカンファレンス (2020年11月14日) Zoom開催 (hosted by アジア太平洋立命館大学)
- 「日本におけるハラール対応の現状と課題—レストラン「極味や」を事例に—Kondisi Layanan Halal di Jepang dan Tantangannya---dari Studi Kasus Restoran “Kiwamiya” 第51回日本インドネシア学会大会 (2019年11月24日) Zoom開催 (hosted by 東京外国語大学)
- ” Current State and the Transformation of Female Circumcision in Indonesia,” (単独、英語) APカンファレンス (2019年11月30日) 於: アジア太平洋立命館大学
- (単) 「インドネシアにおける女子割礼: 政策の変化と現状」 第50回日本インドネシア学会大会 (2019年11月24日) 於: 大阪大学 豊中キャンパス
- (単) 「インドネシアにおける婚姻法改革をめぐる状況 —異教徒間結婚についての議論—」 第49回日本インドネシア学会 (2018年11月18日) 於: 南山大学
- (単) 「インドネシアにおける性的マイノリティーを取り巻く状況~インドネシアにおけるLGBT運動の発展プロセスとLGBT運動をめぐる対立の構図~」 第48回日本インドネシア学会 (2017年11月11日) 於: 天理大学
- (単) 「イスラム新興ビジネスの担い手: ヒジャバーズ・コミュニティーのメンバーたちのイスラム教義理解と実践のあり方~実証研究の成果から見えてきたこと~」 第47回日本インドネシア学会 (2016年11月19日) 於: 愛知県立大学
- (単) “Dinamika perkembangan Bisnis Islam baru di Indonesia” ASJI (インドネシア日本研究学会) 主催研究会 (2015年3月3日) 於: インドネシア大学、日本研究センター
- (単) 「インドネシアにおけるイスラム新興ビジネスの動態」 第45回 日本インドネシア学会 (2014年11月16日) 於: 神田外国語大学
- (単) 「インドネシアにおけるイスラム新興ビジネスとその担い手たち ~イスラム思想、イスラム運動との関わり~」 第44回日本インドネシア学会 (2013年11月10日) 於: 摂南大学
- (単) 「インドネシアにおけるイスラム新興ビジネスとイスラム思想~ムスリマ専用サロ

ンとイスラム教義〜」第43回日本インドネシア学会（2012年11月18日）於：慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス

- （単）「インドネシアにおける女子割礼をめぐる状況—女子割礼をめぐる言説とその実践—」第42回日本インドネシア学会（2011年11月13日）於：京都産業大学
- （単）「近代派」イスラム組織ムハマディヤの伝統と現代インドネシア・イスラム社会」,第41回日本インドネシア学会（2010年11月14日）於：拓殖大学
- （単）「ナフダトゥル・ウラマーにおける保守派とリベラル派の対立〜女子割礼をめぐる〜」,東南アジア学会九州地区研究会（2010年5月29日）於：九州大学六本松キャンパス
- （単）「インドネシアにおけるイスラムとジェンダー—実証研究からみえてきたこと—」,九州地区研究会（2007年2月16日）於：九州大学六本松キャンパス
- 「インドネシアにおけるイスラム教義の理解と実践に関する実証研究—アンケート結果の分析（その1）」第38回日本インドネシア学会（2007年11月11日）於：南山学園研修センター

その他

<国際会議、公開講座など>

- Rethinking halal certification: Balancing religious requirements, sustainability, and cultural context in Muslim-minority countries.（単独、英語）
World Halal Summit 2025 (Istanbul, organized by Discover Events, in collaboration with SMIIC) 29 Nov. 2025
- “Global Halal Standards and Certification Challenges: Rethinking Standards in Lights of Local Realities” 他（単独、英語）Universitas Diponegoro 招聘教授, Public Lecture at Diponegoro University 5日間パブリック・レクチャー、リサーチ・フォーラム、学部生授業など担当 2025. 9.8-9.12
Challenges and Realities of Halal Certification in Japan:
- The Case of Nanawo Seika (於 ;九州国際大学) (科研費プロジェクト第5回国際ワークショップ主催ハラールに関するパネル) (単独、英語) The 9th International Conference on Strategic and Global Studies 2025 at Kyushu International University, Kitakyushu, Japan July 19 (Sat) - 20 (Sun), 2025.7.20
- “ Perspectives on Contemporary Islam and Gender in Indonesia” (単独、英語) 2025年5月12日 (於 : 東京大学) ” Discussion with Zainah Anwar and Ziba Mir-Hosseini: Perspectives on Contemporary Islam and Gender in Indonesia” 12 May, 2025, at Tokyo University、庭野平和財 受賞記念研究集会 招待コメンテーター
「現代の多様化と多様性尊重をめぐるムスリム・コミュニティの課題とその解決方法の研究」 科研費基盤研究B(24K03160)ワークショップ Globalizing Equality and Justice in the Muslim Family: The Journey of Twenty Years
- 国際会議 Keynote Speech, UPN Surabaya(オンライン参加)
Food Security: The General Situation in Japan and Food Issues for Muslims Living in Japan, (単独、英語) International Conference on Agriculture and Environmental Sciences (ICAES) 2025 UPN “Veteran ” Jawa Timur, 2025.9.18
- ハラール事情講習会 (単独) 三栄源エフ・エフ・アイ株式会社カラー&ヘルスユニット企画推進グループ, 2025.2.28
- Halal di Jepang: Fakta dan Tips Praktis (単独、インドネシア語) MUSFUK (福岡インドネシア人ムスリム女性の会) 主催, 5 Oktober 2025 (於 : Chihaya Namiki Square)
- Seminar Edukasi: Makanan dan Minuman Halal di Jepang, (単独、インドネシア語) IPTIJ (Ikatan Pemegang dan Tokuteiginou Indonesia di Jepang) 在日インドネシア人の技能実習生・特定技能人材の団体主催, 21 Desember 2025
- “ Towards Contextual Fiqh for the Welfare of Muslim Diaspora in Asia:

Rethinking Halal and Beyond” Kuliah Umum Ekonomi & Bisnis Islam
Menjadikan Indonesia Sebagai Industri Halal Global, CSED Paramadina University
2025.11.18

- “Global Halal Standards and Certification Challenges :
Rethinking Standards in Lights of Local Realities”
” Standar Halal Global dan Tantangan Setifikasi Halal: Meninjau Kembali dengan
Memperhatikan Realita Lokal” (単独、インドネシア語) UIN Sunan Kalijaga,
Yogyakarta 2025.10.30
- HALAL INDUSTRY in JAPAN : Issues in Restaurants and Seasonings - Part 1
HALAL INDUSTRY in JAPAN : Issues in Restaurants and Seasonings - Part 2
UniSZA(Universiti Sultan Aainal Abidin, Malaysia) 2025 .10.17
- Bumbu tradisional Jepang dan Halal (Sesi II: Alkohol dalam Tinjauan Fikih dan
Farmasi) (単独、インドネシア語) Majelis Tarjih dan Tajdid Pimpinan Pusat
Muhammadiyah dengan difasilitasi oleh Pusat Tarjih Muhammadiyah Universitas
Ahmad Dahlan. 2025.1.24
- Masalah Halal di Jepang dan pengaruh dari Standard Halal negara-negara Muslim
Mayoritas (単独、インドネシア語) Bahthul Masail PWNJ Jawa Tengah, 8 Sep 2025
- “ Perkembangan Islam di Jepang dan masalah Halal Food”
(単独、インドネシア語) Invited lecture at “Ramadhan Lecture Series
1446H (Kajian Ramadhan),” organized by the Directorate General of
Customs and Excise, Ministry of Finance, Indonesia (KPU BC Tipe A
Tanjung Priok), March 13, 2025, online (Zoom).
- 「ムスリム多数派国のハラール基準が非ムスリム諸国に与えている影響; 日本の事例
を中心に」 (単独) アジアネットワーク研究会, 2026年1月31日
- 「インドネシア、イスラム、ハラールについて」 (単独)、荻田町 荻田町役場 多文
化共生推進協議会 主催イスラム文化講座 2025 .10.6
- 北九州市民カレッジ、「インドネシア、イスラム文化、ハラールについて学ぶ」 (単独)
2024, 2025
- 科研費プロジェクト国際ワークショップ主催
Organized the 4th international workshop “Halal Standards and Certification
Systems in Muslim Minority Countries and Regions: Focusing on Europe, South
Africa, and India”. January 11th (Saturday), 2025, at Tokyo Metropolitan
University
- ハラールシンポジウム福岡 講演「日本におけるハラール対応&インドネシアによるコミュ
ニティハラール認証団体の設立 “Halal compliance in Japan and the establishment of
community-based halal certification bodies in Indonesia.”」 (単独、英語) インド
ネシア共和国大使館主催、10月10日 於: アクロス福岡
- “Challenges and Opportunities in Halal Services in Japan: A Comprehensive
Analysis” (単独、英語) The 8th International Conference on Strategic and Global
Studies (ICSGS) “Transformation of Global Security, Digital Economic, Regional
Development, and Global Halal Industries” 25-27th October, Nanchang, China.
- “Food Security: The General Situation in Japan and Food Issues for Muslims
Living in Japan,” (単独、英語) International Conference on Agriculture and
Environmental Sciences (ICAES) 2024, Agriculture Faculty - UPN “Veteran” Jawa
Timur, Indonesia, 2024年9月18日
- ジョクジャカルタUIN公開講座 Peluang dan Tantangan Industri Halal Global, (単
独、インドネシア語) 13 September, 2024 Universitas Islam Negeri Sunan Kalijaga
Paskasarjana主催
- ジャカルタ UIN 公開講座 Halal in Japan; Challenges and Opportunities, (単独、英

語) 20 September, 2024 Pusat Pengembangan Ekonomi dan Keuangan Syariah, Universitas Islam Negeri Syarif Hidayatullah 主催

- “Pengenalan Bumbu Fermentasi Tradisional Jepang,” (単独、インドネシア語) Halaqah Status Halal-Haram Bumbu Masak Tradisional Jepang Majelis Tarjih dan Tajdid Pimpinan Pusat Muhammadiyah Yogyakarta, Jumat, 24 Rajab 1446 H / 24 Januari 2025 M, 24 Januari 2025
- DIREKTORAT JENDERAL BEA DAN CUKAI DEWAN KEMAKMURAN MASJID Seri Kajian Internasional Dunia Islam Perkembangan Islam di Jepang dan Masalah Halal Food. 13 Maret 2025.
- “Isu-isu kontemporer industry halal,” Public Lecture at Universitas Nahdlatul Ulama Indonesia, 21 February, 2024.
- “General Overview of Halal Products in the International Market and the Prospect of Indonesia’s Halal Products” in Foreign Policy Data Talks; Penguatan Diplomasi Ekonomi Untuk Promosi Industri / Produk Halal Indonesia di Dunia International, at Hilton Hotel in Bandung. 15 February, 2024.
- 科研費プロジェクト国際ワークショップ主催 Organized the 3rd International workshop organized by Halal KAKEN Project Group on “Standardization of Halal Standards and Dynamics of Diversity in the Global Era.” 21 January, 2024, at the Institute of Developing Economies (IDE-JETRO)
- “Too Strict Halal Standards from Muslim-majority Countries and “Food Security” of Muslim Consumers in Muslim-minority Countries,” in the seminar with theme: Enhancing food security and food system management, University of Pembangunan Nasional Veteran, Surabaya, 16 August, 2023.
- ” Halal Industry: Current Trends and New Challenges: the impact of strict standard to the Muslim minority countries(case of Japan)” The 5th International Conference, UMI(Universitas Muslim Indonesia) ,19 Sep, 2023.
- “Halal Regulation in Japan and Updated situations of the halal market: Challenges and opportunities to enlarge the market share of halal products,” Ahmad Dahlan Halal Center (ADHC) Conference; Halal Standard Harmonization: Challenges and Opportunity, 10 December 2022.
- 科研費プロジェクト国際ワークショップ主催 Organized the 1st International workshop organized by Halal KAKEN Project Group “Changes in Halal Identity Management: Stricter Halal Standards and Diversity in the Age of Globalization.” on 19 November 2022, at Doshisha University.
- “Halal Ecosystem in the Era of Globalization:Impact on Muslim Minority Countries” 5th Bandung Annual International Conference 2022, Science & Technology Research Symposium With theme: Halal Ecosystem, 18 Oct. 2022.
- Halal Standards in the Age of Globalization: Current Situation in Japan as a Muslim Minority Country and Responsibilities of Muslim Majority Countries The 3rd International Conference on Halal Development (ICHaD 2022) Halal Centre LPPM/RICE Universitas Negeri Malang “The Trend of Green Economics on Halal Industry : Unveiling Current and Future Prospect” . 6 October, 2022 (Zoom)
- Considering the Usefulness of Halal Supply Chain in Japan the 3rd Asia Pacific IEOM Conference in conjunction with the 2nd Conference on Industrial Engineering and Halal Industries (CIEHIS). 15th September 2022 (Zoom)
- Global Overview on Halal Industry in Asia and Japan:the Development of halal Industry and its side effects on Muslim Minority Countries 1st International

- Conference on Islamic Economic and Business (ICIEB) 2022, held by Ministry of Religious Affairs of the Republic Indonesia, Faculty of Islamic Economics and Business, Sunan Kalijaga State Islamic University, 3th August, 2022 (Zoom)
- Branding Halal di Jepang tantangan dan prospeknya, SEMINAR NASIONAL Literasi Jaminan Produk Halal Dalam Mendukung Pengembangan Ekonomi Pariwisata Halal, 8 March 2022. Universitas Negeri Malang
 - “Let’s Understand about ‘Halal alcohol’ Don’t afraid to eat Shoyu senbei,” in Webinar JAHRIA (Japan Halal Research and Information Association) Ke-dua,” 11th February 2022.
 - “Additional information about Japanese cuisine seasonings,” in Webinar JAHRIA (Japan Halal Research and Information Association) Ke-tiga, 11 March 2022.
 - “Industri Halal di Jepang: Peluang Pasar dan Kerjasama dengan Muhammadiyah” Pengajian Pengurus Pusat Muhammadiyah, via zoom meeting, 2022年2月11日
 - Halal Education: Islamic Teaching and Practices for Global Education, The Necessity of a Global Perspective in Halal Education to build Peaceful and Harmonious Society in Muslim Minority Countries, the 2nd International Conference on Halal Development (ICHAD) 2021, 5 October 2021
 - A Brainstorming Session to Set a Minimum Standard for Domestic Halal Service in Japan, held as organizer of “Kitakyushu Muslim Friendship Promotion Project,” 30th July, 2021.
 - Follow-up Meeting for Establishing a Minimum Standard for Domestic Halal Service, held as organizer of “Kitakyushu Muslim Friendship Promotion Project,” 27th August 2021.
 - “Current State and the Transformation of Female Circumcision in Indonesia” ASIA PACIFIC CONFERENCE 2019, Ritsumeikan Asia Pacific University (APU) in Beppu, Oita, Japan, November 30–December 1, 2019.
 - 「インドネシアにおける一夫多妻婚、秘密婚、異教徒間の結婚について」KFAW アジア研究者ネットワークセミナー イスラーム・ジェンダー・科研 公開セミナー 「イスラーム世界の結婚最前線」(2017年10月22日) 於：アジア女性交流・研究フォーラム
 - ” The Image of Islam in Japan; Muslim Children and their Mothers are “Real Ambassadors” of Islam in Japanese Society.” The 6th World Peace Forum (第6回世界平和会議) (2016年11月3日) 於：インドネシア共和国、ジャカルタ、Grand Sahid Jaya Hotel Jakarta.
 - イスラーム公開講座「最近のインドネシアムスリムの動向」日本ムスリム協会主催 (2016年10月30日) 於：筑紫口ビジネスセンター
 - Dinamika perkembangan Bisnis Islam baru di Indonesia” ASJI (インドネシア日本研究学会) 主催研究会 (2015年3月3日) 於：インドネシア大学、日本研究センター
 - 「インドネシアにおけるイスラムとジェンダー」アジュマルディ・アズラ氏 福岡アジア文化賞 受賞記念市民フォーラム パネルディスカッション パネリスト (2014年9月21日) 於：アクロス福)
 - Public Lecture : “Tinjauan Multi – disipliner terhadap Muen Shakai pada Masyarakat Jepang dewasa ini.” (現代日本社会における無縁社会に対する学際的考察) ダルマ・プルサダ大学, ASJI (インドネシア日本研究学会) 主催公開講演会 (2013年9月11日) 於：インドネシア共和国
 - International Conference on Muhammadiyah (ICM) 2012, Indonesia. 29 November — 2 December 2012. “Progressiveness and Conservatism with respect to Islamic Teachings among Grassroots Members of Muhammadiyah: Regional Differences and Comparisons with NU ~Survey Results and Some Contemplations about Gender Issues in the History of Muhammadiyah~”
 - “Islam and Gender Mainstreaming in Indonesia”, Seminar of Indonesia: Indonesian Student Association in Japan (立命館アジア太平洋大学&インドネシア共和

国大使館主催、(2010年2月6日)於；立命館アジア太平洋大学)

○ 「ジェンダーの視点からみた近代派イスラームと伝統派イスラーム」 南山大学アジア・太平洋研究センター主催セミナー (2009年2月22日)

(単) “Changing Japanese Society and Women” 日本インドネシア国交樹立50周年記念シンポジウム, (2008年11月1日) 於：インドネシア、ジャカルタ

■ 大学就任以前の主な業務上の実績

1990(平成2)年4月	大学書林国際語学アカデミー「インドネシア語」非常勤講師 (平成11年3月まで)
1990(平成2)年9月	アジア文化会館アジアセミナー (～平成5年8月)
1990(平成2)年10月	シルクロード文化研究所「インドネシア語」非常勤講師 (平成4年3月まで)
1991(平成3)年10月	神田外語学院「インドネシア語」非常勤講師 (平成5年9月まで)
1993(平成5)年4月	上智大学公開学習センター「インドネシア語」非常勤講師 (平成11年3月まで)
1993(平成5)年9月	八千代国際大学非常勤「インドネシア語」非常勤講師 (平成6年3月まで)
1993(平成5)年10月	朝日カルチャーセンター・横浜「インドネシア語」非常勤講師 (平成7年9月まで)
1995(平成7)年4月	東京外国語大学「東南アジア語学特殊研究 (インドネシア語基礎)」非常勤講師 (平成11年3月まで)
1996(平成8)年4月	東京地方裁判所にて法廷通訳 (平成11年3月まで)
1998(平成10)年4月	千葉大学「インドネシア語」非常勤講師 (平成8年9月まで)
1998(平成10)年4月	アジア・アフリカ語学院「インドネシア事情」非常勤講師 (平成11年3月まで)
1998(平成10)年4月	淑徳大学非常勤講師「インドネシア語」 (平成11年3月まで)
1998(平成10)年4月	NHK情報ネットワークセンターにて通訳 (平成11年3月まで)
1999(平成11)年4月	札幌国際大学非常勤講師「アジアと日本」「生活文化論」「世界の民族」非常勤講師 (平成12年3月まで)

■ 主な所属学会

東南アジア学会、日本インドネシア学会、国際平和学会

■ 受賞等

()年 月	特になし
--------	------

■ 研究助成金による研究

- 2026—2029 年度 科学研究費助成金[基盤研究 (B)] 研究課題「ジェンダー平等をめざすイスラーム思想潮流とネットワークの形成—促進要因と阻害要因」
- 2022—2025 年度 科学研究費助成金[基盤研究 (B)] 研究課題「グローバル時代におけるハラール基準の標準化と多様性の動態」(研究代表者)
- 2019—2020 年度 科学研究費助成金[基盤研究 (B)] 研究課題「ポスト植民地における女性の身体—東南アジアとアフリカの「女性器切除」—」(研究分担者)
- 2012—2014 年度—科学研究費補助金[基板研究 (C)] 研究課題「インドネシアのイスラーム復興現象と新展開—イスラーム新興ビジネスの発展と動態—」(研究代表者)
- 2004—2006 年度 科学研究費補助金[基盤研究 (C) (2)] 研究課題「インドネシアにおける民主化とジェンダーの主流化」(研究代表者)
- 2001—2002 年度 科学研究費補助金[基盤研究 (C) (1)] 研究課題「NGO はジェンダーの主

流化の進展にどのような役割を果たしているかー東南アジアを中心に」(研究分担者)

社会における活動等

2025年 企業向けハラール講習の実施、MUSFUK (福岡インドネシア人ムスリム女性の会)
 IPTIJ (Ikatan Pemegang dan Tokuteiginou Indonesia di Jepang=在日インドネシア人の技能実習生・特定技能人材の団体) へのハラール理解講座の実施
 2025年8月 インドネシア、ジョクジャカルタ Ahmad Dahlan 大学からの大学生の実習受け入れ
 2024年6-7月 北九州市民カレッジにて講座開講「インドネシア、イスラム文化、ハラールについて学ぶ」
 2024年7月 インドネシアの小学校と日本の小学校の異文化交流プログラムのコーディネートを開始。
 2022年10月15日オンライン公開講座の主催：持続可能な共生社会を目指して滞日ムスリムたちの受け入れ方を考えるシンポジウム, テーマ「日本の教育現場におけるムスリム対応のあり方を考えるー英仏米との比較からー」主催 (Zoom形式)
 2022年10月 (一社)ムスリム・フレンドリー・ジャパン設立。代表理事として飲食店、食品製造業者のハラール対応サポート活動を開始。
 2022年1-3月「ハラール対応4回連続講座」(九州国際大学 地域連携センター事業)
 2021年8月27日 日本国内向けハラール基準策定委員会事務局
 2021年8月「ベジタリアン対応5回連続講座」(九州国際大学 地域連携センター事業)
 2021年10月30日ハラールに関する第3回公開シンポジウム (九州国際大学、地域連携センター事業)
 「グローバル化時代におけるハラール産業～日本の国内向けハラール・サービスの現状とこれから～」(ハイブリッド形式) 主催
 2020年10月7日九州国際大学 現代ビジネス学部主催 公開シンポジウム 「日本のビジネス業界に求められている ムスリム向け商品・サービスのあり方とは」(ハイブリッド形式) 開催責任者
 2019年6月20日九州国際大学 現代ビジネス学部主催 公開シンポジウム 「今、フードビジネス業界に求められているグローバル化 ～イスラム教徒のための“ハラール対応”のあり方とは」 開催責任者

 2021年10月 (一社)ムスリム・フレンドリー・ジャパン設立。代表理事として飲食店、食品製造業者のハラール対応サポート活動を開始。
 2021年9月～ ハラール対応講師活動開始 (オンライン)
 2019年5月～ ハラール対応 サポート活動開始
 2019年4月ー九州国際大学現代ビジネス学部「北九州ムスリム・フレンドリー推進プロジェクト」事務局
 2008年7月「外国人研修生権利ネットワーク・北九州」発足、ボランティア通訳開始
 2007年10月インドネシア人研修生・実習生のためのボランティア通訳開始

 2020年度 科学研究費審査委員 (社会学関連)
 2019年度 科学研究費審査委員 (社会学関連)
 2018年度 科学研究費審査委員 (社会学関連)

大学運営活動等

過去の活動
 図書委員
 人権委員

- 社会文化研究所運営委員
 - 国際センター委員
 - F D委員
 - 入試広報委員
 - 就職対策委員
 - 教務委員
 - 地域連携センター委員
 - 学科PASS会議幹事
 - コース主任
- 現在の活動
- 研究活動助成委員